

問題 1 20 点 (4 × 5 点)

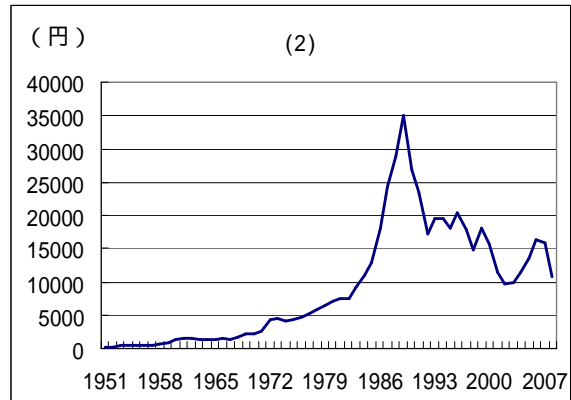
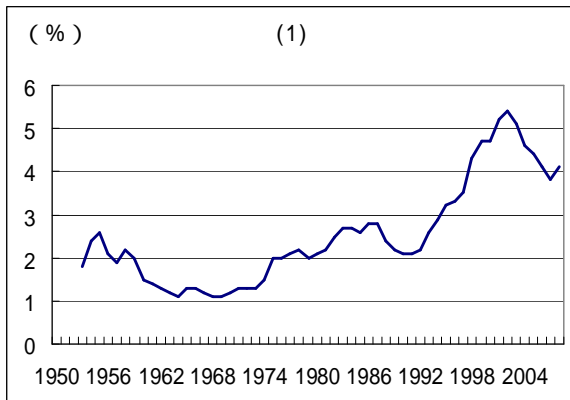
(1) 次の文章のカッコに入る言葉を埋めよ。

(1) は経済学の父とも呼ばれ、主著『国富論』で市場機能を「見えざる手」と表現した。リカードは、貿易が両国の利益になることを、絶対優位に対して (2) という言葉で説明した。

(3) は、大恐慌の処方箋として、有効需要が増やすことが重要で、財政政策を重視した。これに対し、新古典派のフリードマンは (4) 政策を重視している。さらに、(5) 学派は、人々は合理的に行動しているので、財政政策は無効だと主張した。

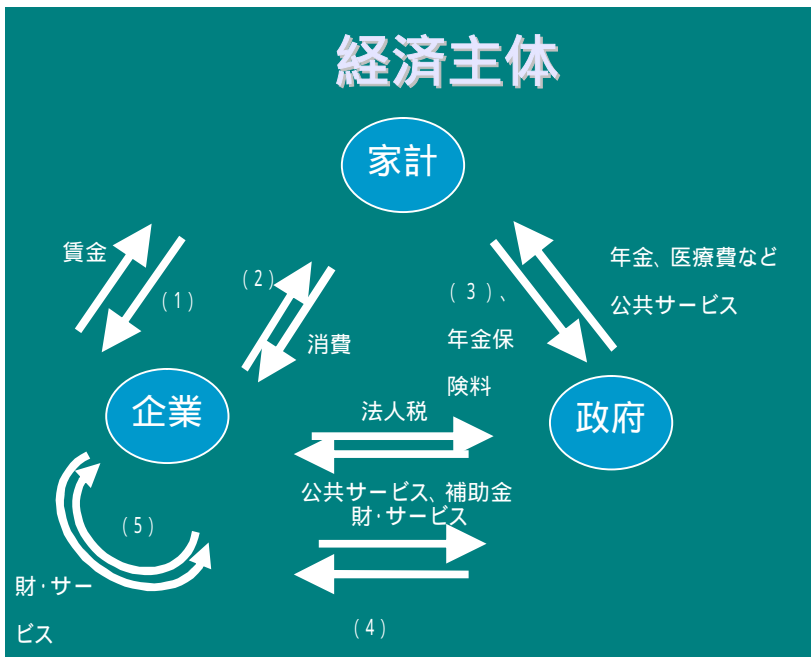
問題 2 10 点 (2 × 5 点)

次の (1)、(2) のグラフの経済指標名を書け。



問題 3 20 点 (4 × 5 点)

次の (1) から (5) に当てはまる言葉を書け。



問題4 20点(2×10点)

国民経済計算の諸概念について以下の値が与えられている。

(1) 国内総生産、(2) 国民所得はいくらになるか。

最終消費支出 240 総固定資本形成 120 在庫品増加 10
財・サービス輸出 60 財・サービス輸入 40 固定資本減耗 10
間接税 - 補助金 20 海外からの要素所得の受取 20
海外からの要素所得の支払 10

問題5 20点(2×10点)

次のデータが与えられているとき、2007年の実質GDP、2009年の実質GDPはそれぞれいくらになるか。

	2007	2008	2009
名目GDP	500	550	600
GDPデフレーター	100	110	120

問題6 (10点)

授業での疑問点、感想などを書いてください。空欄の場合は0点です。